# 平成30年度 第4回 春日区地域協議会 次 第

日時:平成30年6月6日(水)午後6時30分から

会場:上越市市民プラザ 第4会議室

延 2時間20分

1 開 会 【5分】

## 2 議 題

(1) 平成30年度 地域活動支援事業について

① 委員同士による意見交換

【120分】

# 3 その他

(1)次回開催日の確認

【10分】

(2) その他 【5分】

## 4 閉 会

■事業番号: 春-01

■事業名: 高齢者の健康づくり活動(まちづくり)と地域交流事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数:1件

質問1	地域活動支援事業費以外での収入はあるか。あれば内容を教えて欲しい。
回答	春日野町内会より14万円の他に、健康体操で、65名の会員から徴収してい
	る会費、近隣散策では、参加費として6万円徴収し収入としている。

■事業番号: 春-02

■事業名:春日野いきいきサロン事業

■回答方法: 文書回答

■質問数: 2件

質問 1	既に実施されている観桜会について、事業が不採択の場合の会計は想定してい
	るか。
回答	この事業が全て円滑に採用していただけることを信じて実施計画を策定し
	ている。
	想定外にも不採択の場合は、その後の全ての実施計画を変更せざるを得なく
	なる。
	過去5年間、春日区地域協議会から支援していただき、運営してきた。1月
	に町内会から助成金(3万円)を頂いたが、全て観桜会で支出したので、今後の
	会計は自己負担となり、会そのものが継続、存続できないことも想定される。

質問2	期待する効果について、実感している事例を教えて欲しい。
回答	1月に年間計画を配布するが、開催日には必ずお楽しみ会を忘れないで出席
	する人が多くなっている。
	活動は、お茶飲み会、おにぎり会、書初め、豆まき、お花見、七夕、近隣散
	策等、趣向を変えながら、高齢者の居場所づくり、お楽しみの場所を提供して
	いる。
	※すべての人が健常者でないため、お花見、近隣散策には足を確保するために、
	タクシーまたはマイクロバスが必要になる。

■事業番号: 春-03

■事 業 名: 木田新田町内活性化事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質 問 数: 1件

質問1 神天購入について、町内会費や地域企業からの協力等による購入はできないか。

回答 町内会費に関しては、募金や支援・協賛金等について都度集金している訳ではなく、町内会費から捻出しているため、余分な予算はなく厳しい。また、現在は月々2千円の町内会費を集めており、他の町内より高めの町内会費と思われ、これ以上の徴収は難しいと考えている。さらに、企業等からの協力金に関しては、町内には大きな企業はなく、診療所が3件、薬局が2件、保育園、社会福祉協議会が運営している総合福祉センターがあるが、どれも協賛金を求めることは難しい状況である。営利目的とした企業があれば状況は変わるが、現状では難しい。

■事業番号: 春-04

■事業名: ジュニアバレーボールの普及及び青少年健全育成事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数: 4件

質問1	昨年度と同様、資格取得は自己負担でお願いできないか。できなければ理由を
	教えて欲しい。
回答	取得できる資格は取りたいと考えているが、これについては提案を取り消し
	たい。(資格取得希望者に話して了承を得た。)
	ただ、県内にて毎年資格取得試験がある訳ではなく、昨年度は1人あたり10
	万円近い個人負担があった。
	資格取得は必要なことであるため、来年度改めて提案したい。

質問2	運営の会員及び昨年度の収支決算を教えて欲しい。
回答	【5.23 配布資料を参照】
	昨年度は、地域活動支援事業より70万2千円の補助金をもらい、主に大会
	参加費・交通費・ユニフォームの購入金に充てた。
	さらに、前年度繰越金・会員からの会費で遣り繰りした。

質問3	参加費、交通費が増えた理由を教えて欲しい。
回答	チームが強くなったため、昨年度から色々なチームや団体よりお誘いの声が
	かかり練習試合をする機会が生まれた。
	今年度もレベルアップのために、どんどん参加したい。

質問4	次年度以降の活動の見通しを教えて欲しい。
回答	今年度の活動を継続しながら、活動範囲を広げていきたいと考えている。た
	くさん練習を頑張っている子供たちや毎回練習に来ている子供たちに、たくさ
	んのチャンスを与え、より多くの大会へ参加し、一つ一つの経験や体験を積み
	上げてほしいと思っている。
	その子供たちが大人になった時に、今の「頑張った記憶」や「成功した経験」
	を活かせれば良いと考えて取り組んでいる。
	近隣からも練習試合等の色々な声を掛けてもらっているが、交通費等の問題
	からお断りすることも多いため、負担軽減のために採決をお願いしたい。

■事業番号: 春-05

■事 業 名: 御館リバーサイド環境美化事業

■回答方法: 文書回答■質問数: 2件

質問 1 花の苗や球根について、予算を抑えることはできないか。

回答 | 最大限交渉の2者競争見積結果となっている。

質問2 | 調整池の土砂上げ作業は、土地の管理者に依頼することはできないか。

回答 【5.23 配布資料を参照】

春日山調整池(上越市所有)の維持管理については町内会で実施することとなっている。※別紙「物件引受書」にも明記されている。

■事業番号: 春-06

■事業名:春日山モルツミニバスケットボールクラブ事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質 問 数: 1件

質問1 / バス遠征先について、今年度の予定と場所等を詳細に教えて欲しい。

回答 【5.23 配布資料を参照】

今年度の遠征計画は配布資料に記載の通り。昨年度は、30万円弱の補助金をいただき、実際には12回の遠征を行った。

チームが強くなることで、色々なチームや団体からの声掛けが増え遠征回数が増加してきている。昨年度は補助金をもらったが、実際には合計 130 万円ほどかかったため、不足分は自己負担でまかなっている。

今年度は、現時点で8回の遠征を予定しており、見積もりについては小型バスで取っている。

しかし、男女合同での遠征の際には小型バスでは厳しいため、大型バスでの 移動となり費用も増加するが、チーム及び自己負担による遠征を予定してい る。

極力、日帰り圏内での遠征になるように意識しているが、大会の結果によっては宿泊での遠征になることもある。

6・7・11 月には地区大会があり、優勝など良い成績を出した場合は、遠征が増えることも予想される(平成29年度には、一番遠方で石川県・輪島)

■事業番号: 春-07

■事 業 名: 春日山城跡保存整備促進協議会 10 周年記念事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数: 3件(再質問1件)

質問1	事業完成後、見学案内ルートの提案予定はあるか。
回答	見学案内ルートを明確にするために事業提案したいと思ったが、当会の事業
	は、毎年度補助希望額が大きくなるため、極力減額するために次年度以降に先送りしたところだ。

質問2	P.4 収支計画等の収入の部の協議会負担金 508,600 円のうち、記念誌あっせん
	分 1,314 円×200 冊=262,000 円に一部充当(協議会で原価で買い取り)とある
	が、良く分からないので説明をお願いしたい。
回答	【5.23 配布資料を参照】
	極力、補助金等の申請額を減額したいとの思いから、あっせんによる収入を
	予定している。
	しかし、200冊全てがあっせんできる保証もないため、当協議会による買い
	取りという方法を選択した。

質問3	地域の宝である春日山城跡を保存するための「松葉かき」等は教育的支援事業
	と評価しているが、今年度の実施予定はあるのか。
回答	10 周年記念事業に含めていないがこれまでも行っているため、本日(5/23)、
	春日小学校の児童 134 名、教職員 5 名、当会員 31 名で「松葉かき」を実施し
	た。
	相撲場の周りの松葉かきは小学生で行えるが、松の木が枯れている部分はこ
	れまでの2年間、補植を行った。ブッシュが出てきているため雑草も行わなく
	てはならず、その部分の松葉かきは今年が無理であれば来年で行う予定であ
	る。春日中学校の生徒も参加を希望すれば検討していく予定である。

質問4	【再質問】 今回の提案書の年間スケジュールに「松葉かき」は入っていないとのことだが、 費用面はどうなっているのか。
回答	通常、掻いた松葉をレッカー車で回収するため大きな費用がかかる。しかし、相撲場の下に横井戸があり陥没している。昨年、教育委員会と話し合い、どうせ土で埋めるのであれば松葉を入れることに決まった。そのため、回収の費用は掛からないが、子供たちにお菓子を配布し、終了後、協議会委員と地域住民とで15分~20分程度春日山城跡について話し合う場を設け、子供たちに大変喜ばれた。中学生と松葉かきを行うとなれば、集めるのは中学生で行っても回収は市の農林水産整備課に依頼しなくてはならない。

■事業番号: 春-08

■事 業 名: 春日区の交通安全のための交通安全推進活動並びに交差点関連路面標示修繕等事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質 問 数: 1件

質問 1 **春日区居住者から毎年** 180 **万円前後の会費収入、総額** 210 **万円前後の予算があるが、この範囲で事業実施は不可能か。** 回答 平成 29 年度ベースと比較して考えると、不可能と言わざるを得ない。

■事業番号: 春-09

■事 業 名: 新光町内活性化事業

■回答方法: 文書回答■質問数: 1件

-			
,	質問 1	町内会費での購入は検討したか。	
	回答	①町内会長に打診したが難色を示された。 ②町内会は町内会館の管理・運営という大きな支出項目が加わり、まだまだ先が見えない状況とのことだ。このような状況の中で、いくら町内活動を盛り上げるためとは言え、町内会費からの支出に難色を示された。	
		(1) るためとは言え、町内云質がらの文山に無色を示された。 ③青壮年会は、会員からの会費収入を中心に、青壮年会で必要な物品を購入したり、活動費を賄ってきたりした経緯があり、今まで青壮年会で必要な物品を 町内会費での検討、購入の実績がない。	
		④今回の法被については多額の出費であり、青壮年会の会計で賄うのは無理がある。	
		※提案書 2-(3) にある収支残額 14 万 5 千円のうち、10 万円は神輿買い替えのための特別会計に繰り入れるため、実質の残は 4 万 5 千円となる。しかし、この残額も行事の支出増や弔慰金等がある場合は、法被等の購入が無理と考える。	

■事業番号: 春-10

■事 業 名: 安全に安心して暮らせるまちづくり事業(防犯パトロール実施事業)

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数: 2件

質問 1 **昨年度は、のぼり旗は** 100 枚、竿は 50 本の購入等予定で補助金が交付されているが、旗の材質をグレードアップして消耗度合いを低減して長く使用する工夫をしているのか。

現在、塩ビのビニル管をガードレールに縛り付け、その中に竿を立てる方法 を検討している。その理由は、通常のつけ方をすると風で旗だけが回ってしま い、旗や竿に負担がかかるが、この取付方法では負担が少ないことが予想され る。このやり方が上手くいけば、旗・竿ともに長持ちすると考えており工夫し ている。

## 質問2 地域活動支援事業費補助金を活用したのぼり旗、帽子、ベスト等の累計と、劣 化等により棄損、廃棄したものの数はいくつか。

回答 拍子木は丈夫に見えて、雪・雨風等に当たってしまうと持ち手部分が割れて しまう。怪我の恐れもあり危険であるが、なるべく長く使用できるよう使用者 に呼びかけている。

## 【回答を表に整理】

-平成 30 年度-

	旗	竿	キャップ゜	横棒	ベスト	帽子	誘導灯	拍子木	ライト
現在使用中	162	162	162	162	421	760	55	14	14
残数	78	58	47	15	39	0	41	10	4
廃棄数	710	120	21	38	0	0	24	28	0
合計	950	340	230	215	460	760	120	43	18

■事業番号: 春-11

■事業名: 子ども行事(春祭り、夏祭り、餅つき大会)の支援事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数: 3件

F F	<b>質問 1</b>	蒸し器・餅つき機は、会員の中でお借りすることは無理か。無理の場合は、そ
		の理由を教えて欲しい。
	回答	会員からの借入は可能であり、現在も借りて行っている。しかし、家庭用の
		ため容量が小さい。町内会自体が大きいため 3~4 器必要であり、借用に毎回
		苦労し、かつ準備にも時間が掛かり役員の負担が大きい。参加者に配布するた
		めには時間と手間が掛かり間に合わない。
		これらを考慮し、町内会のサイズに見合ったものを準備したい。借用先の住
		民には年間7千円~8千円の謝礼を払っており購入したほうが良いと考えた。

質問2	ガラポンのレンタルは無理か。無理な場合はその理由を教えて欲しい。
回答	夏祭りのみの使用ではなく、町内会の運動会、1月の新年会、9月の敬老会
	でも使用しており、使用回数が多いため購入を希望している。

質問3	太鼓2張は新規購入か、既存の更新か。
回答	太鼓は新規の購入である。木田町内会の春祭りでの神輿巡回は3コースに分
	かれているが、太鼓を1張しか所有していないため、2コースは太鼓なしで音
	を放送で流しながら巡回している。
	そのため、残り2コース分の太鼓も用意すれば、参加する町内の子供たちの
	士気も高まり張り合いも出ると思い、購入を希望している。

■事業番号: 春-12

■事業名: 小学生の音楽による地域の絆づくり支援事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数: 2件

## 

質問2	今後の補充や更新計画はあるのか。
回答	必要に応じてやっていかざるを得ないと思っている。昨年度は地域活動支援
	事業より多大なる支援をいただき、今年度も不足分を購入として提案している
	ため、来年度は提案を見送るつもりである。

■事業番号: 春-13

■事業名: 高齢者の生きがいづくりと地域交流事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数: 4件

質問1	歌声列車代金を一部個人負担にできないか。
回答	出来ると思う。基本的に温泉宿での食事代として3千円、列車代で雑費含め
	て3千円が一人当たりにそれぞれ掛かっており、どちらかだけでも支援してほ
	しいと考えている。参加者は年金生活者であり、年金が少ない方も多いため、
	負担を少しでも減らしてたくさん参加してほしいと考えている。

質問2	歌声列車参加の地域への周知方法を教えて欲しい。
回答	新聞・ホットライン・伝言板などで告知している。また、春日地区の老人団
	体、イベントや活動等でも告知している。今年度は高齢者サロンでも可能であれば宣伝したいと考えている。

質問3	参加者の多い町名はどこで、何歳くらいの参加者が多いのか。
回答	参加者に「春日山何丁目に住んでいるか」と確認しておらず、電話番号のみ
	で受付をしているため町名は不明であるが、春日山駅から乗車する方が多い。
	年齢も聞いては失礼なので聞いていないが、見た目から判断して 75~80 歳代
	が多く、60歳代はほとんどいないと思っている。

質問4	歌声列車の効用は何とお考えか。
回答	列車に乗り歌を歌うことが高齢者の気持ちに張りを持たせ、独居の高齢者に
	コミュニケーションの場を提供していると考えている。やる気、若返りの気持
	ち増進につながっていると感じている。

■事業番号: 春-14

■事 業 名: 春日野トレイル (自転車コース) 整備事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質 問 数: 1件(再質問1件)

質問 1 **春日区の住民を対象と**したスクールイベントは具体的にいつ頃実施しているのか。また、これまでの実績はあるのか。

回答 現状ではスクールを開催していない。しかし、サッカー等とは違い、競技人口が多いスポーツではない。現在は、自転車に乗りたいと遊びに来た人が気軽にコミュニケーションを取りながら利用でき、自分が教えられる範囲で楽しさやスキル、安全性等を指導している。「過去にスクールの実績があるか」につ

いる BMX ライダー教えてもらっていた。実際スクールの実績はないが、これからは自分が伝える側の立場になったと思っているので、開催していきたい。

いては、自分も小学生の頃からこのコースを利用していたが、全国で活躍して

質問 2 **【再質問】** 

提案書に「イベントの予定」とあるが、スクールではないイベントなのか。そして、近隣の春日小学校等にチラシを配布する等の予定はあるか。

回答 小学校等にもチラシの配布を考え、教育委員会に問い合

小学校等にもチラシの配布を考え、教育委員会に問い合わせたところ、「民間の任意団体のため難しい」との回答であった。宣伝をすることで参加希望者が増えればと考えている。イベントは大変天候に左右されるが、今月末の日曜日(5月27日)にもイベントが予定されており、午前中は金谷山でレース、午後は春日野トレールの整備や子供たちに教えたりすることを予定している。定期的なスクール等は今後もホームページ等で告知していく予定である。

■事業番号: 春-15

■事 業 名: 土橋祭り活性化事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数: 2件

質問1 この事業は個人及び町内会予算で一部負担することはできないか。

回答 予定している事業は神事にかかわる事業であり、町内には宗教上、神事とは 関係のない住民もおり、「町内会予算からの捻出は難しい」との指摘があった

ため地域活動支援事業での提案となった。

質問2 分割購入は検討したか。

回答 検討はしたが、新規で始める事業であり、人数的にもたくさんの参加者が来ると予想されるため、初期の段階で機材が揃っていないと練習できない参加者が出てくる可能性がある。今後、継続的に続けていきたい事業なので、分割購

入では参加者のモチベーションが上がらないと考えた。

■事業番号: 春-16

回答

■事業名:新光町バス停リニューアル事業 ■回答方法:プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数: 2件(再質問1件)

# 質問1 **頸城自動車㈱等との打ち合わせを行ったか。また、バス停の修繕を地域活動支援事業費補助金で行う理由を説明して欲しい。**

頸城自動車乗合部長と2年間程かけて、2,3回話し合いをしている。現在、バス停の建物が民間の倉庫の中に一部入り込んでいる状態のため「予算は出せない」との回答であり、バス停内に設置するベンチ程度であれば支援するとの確約を貰っている。また、地域活動支援事業で修繕を行う理由については、現バス停は上越大通り沿いにあり、45年前に設置されたため老朽化している。利用者は地域住民だけではなく春日山、上越市役所の玄関口として、また、観光者や公共施設、例えば文化会館・商工会議所・夜間休日診療所・春日山駅等の利用者など、他のバス停に比べ多くの利用があるため、町内会として昨年より整備計画を検討してきた。しかし、財源に関しては以上の理由から公共性・広域性が高いと判断し、バス業者や上越市に相談したが、金銭的な支援が望めないことが分かったため、今回の地域活動支援事業への提案に至った。

# 質問2 今後のバス停の維持管理について、教えて欲しい。

回答

現在も週に1回程度の頻度で町内会住民が清掃を行っている。冬場の除雪に関しても、町内会の予算の中で、ボランティアが行っている。また、今後の維持管理の確保に関しては、バス停内掲示板に PR 広告の掲示、店舗・事業所からの協力金を募り、自主財源として維持管理費の確保を予定している。バス停前のプランターの設置等は今まで通り、町内会にて実施し、費用負担を継続する予定である。

質問3	【再質問】
	現在、バス停が一部入り込んでいる民間の倉庫とは企業のものか、あるいは
	地域住民のものか。
回答	バス停向かい側に居住している住民の倉庫の一部である。提案書にも記載したが、現バス停は外に 50 cm程度しか出ておらず、1 m 以上が倉庫内に入り込
	んだ状況である。そのため現在、町内会では借地料として年間 1 万 5 千円を倉庫の所有者に支払っている。

■事業番号: 春-17

■事業名: 中門前2丁目自主防災サポーターズ事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質問数: 2件

質問1	中門前全体町内会との連携はどのようになっているのか。
回答	中門前町内会全体では、自主防災等の補助制度からすでに上限まで補助金を
	受け取っている。全体で使えるリヤカー、担架、投光器、水を備えている。
	中門前町内会は非常に大きな町内会で、肝心な部分は中門前一丁目から三丁
	目の区長・副区長も参加する理事会にて運営している。祭りに関しては、春日
	山神社のお祭り以外は、各町内会で行っている。

質問2	防災訓練でのゲームや工作の具体的な事例を教えて欲しい。
回答	消防署より水消火器を貸りての水消火器・的当てゲーム、水バケツリレー、
	下敷きになった人形をジャッキで持ち上げるゲーム、防災トランプなどを検討
	している。
	工作は、折った紙にビニール袋をかけて作る手作り食器、新聞紙で作るスリ
	ッパ、ツナ缶とティッシュで作るランプを考えている。

■事業番号: 春-18

■事業名: にぎわいのあるまちづくり(春日地区の歴史文化に触れ合う)事業

■回答方法: プレゼンテーションによる口頭回答

■質 問 数: 3件

### 質問1 今後、地域性をより打ち出したイベントに置き換えていく考えはあるか。

#### 回答

「春日地区ににぎわいを作りたい」、「春日山への誘客に繋げたい」との想いから取り組んでおり、春日山駅前でのイベントは春日山への足掛かりと考えている。春日山駅前イベント会場から春日山への周遊バスを運行しているのだが、現状バスの利用者は少ない。現地でのおもてなしやバスの運行時間の見直しを行い、将来的には春日山でも同時にイベントを行い、駅前のイベントと春日山への誘客を図り、両方が成り立つ事業にしたい。まだ3回目の事業のため、手作りイベントの枠を超えていないが、地元・地域の団体に出演してもらい、段階を経て春日山への誘客イベントに繋げていきたい。

## 質問2 | 支出削減の工夫ができないか。

## 回答

支出の主な内容が、イベント会場の設営・設備費に関わる費用であり、経費削減が難しい。しかし、会員内で融通のきく設備は格安にて提供してもらった。他に、チラシを会員で手作りで作成してみたのだが、実際業者に頼むよりも費用がかかってしまい、チラシの制作担当に泣いてもらった経緯もある。なかなか大幅な経費削減は難しいが、常に支出・経費削減は心がけている。

# 質問3 参加者及び主催団体の一部負担ができない理由を教えて欲しい。

#### 回答

イベント自体がまだ小さいために「物販者の出店=収益」には繋がっておらず、出店者も「宣伝」の側面が大きいため、出店料を支払ってまで参加してくれる店舗がないのが現状である。また、当会は春のイベント開催のみの団体ではなく、他での支出もあるため、極力支出を抑えたいと考えている。さらに、提案書提出時にイベント内容が詰め切れていなかったため、提出後に金額が分かった支出もあり、表に出ていないところもある。そのため、今回は今年のイベント内容を考えるのと同時に、次年度のイベント内容を詰めていくことで提案書との差異をなくしたいと考えている。